

NEWS RELEASE

株式会社ビームス

2022年11月1日

日本の魅力を発信する BEAMS JAPAN 岐阜県美濃加茂市のふるさと納税返礼品を監修 返礼品を通して地域産材活用を促進

株式会社ビームス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：設楽洋）が日本の魅力を発信する BEAMS JAPAN（ビームス ジャパン）は、BEAMS JAPAN 担当バイヤーが監修した岐阜県美濃加茂市のふるさと納税返礼品が、2022年10月25日（火）より「ふるさとチョイス」をはじめとする5つの「ふるさと納税返礼品取り扱いサイト」に掲載されることをお知らせします。



岐阜県美濃加茂市のふるさと納税返礼品への監修は、2022年度で3回目となります。本年度は、BEAMS JAPAN の担当バイヤーが、2022年6月から市内の事業者を選考し、現地でのディスカッションとオンラインの打ち合わせを経て開発・選定した、市内6事業者による全24品です。さらに、2021年度に完成した返礼品の取扱いも継続し、BEAMS JAPAN 監修によるふるさと納税返礼品は全67品となりました。

本年度は、美濃加茂市に多く自生し、美濃加茂市の里山風景を再生させるプロジェクト「里山千年構想」の中で地域産材として挙げられている「アベマキ」を活用した商品を監修しています。堅くて重たいという特徴から、加工のしやすさという点ではスギやヒノキに比べると扱いにくいアベマキですが、火持ちのよさから、かつては薪や木炭の材料として利用されてきました。現在は電化等の影響によりこうした需要が下がり、利用されずに放置されているアベマキをはじめとした里山林が地域の課題となっています。そのため、昨今では地元企業がそのアベマキが持つ特徴を活かした商品の開発に積極的に取り組んでいます。

そこで、BEAMS JAPAN はアベマキの特徴を活かし「カッティングボード」や、バーベキューやキャンプに使用できる「ローチェア」「アウトドアテーブル」など、岐阜県美濃加茂市にまつわるさまざまな返礼品を開発・監修しました。美濃加茂市のふるさと納税返礼品監修事業を通して、地域課題解決への貢献も目指します。

■BEAMS JAPAN 監修「岐阜県美濃加茂市」ふるさと納税返礼品

●料亭 昇月

- ・【BEAMS JAPAN 監修】料亭昇月 ご飯のおとも詰め合わせ
- ・【BEAMS JAPAN 監修】料亭昇月 創作日本料理コースご招待券（4名様）



1961年創業の日本料理店「料亭 昇月」のこだわりが詰まった、地元で多くの方々に愛されている3品目をふるさと納税返礼品限定で瓶詰め。「昇月風 ちりめん山椒」は白いごはんのお供にも、お茶漬け・おにぎりにもぴったりの一品。「大豆の煮たん」「黒豆の煮たん」はお豆を丁寧にふっくら炊き上げ、素材の味を引き立てた甘辛いやさしい味わいです。

●みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム（地域博物館）



- ・【BEAMS JAPAN 監修】「おばあちゃんちのおかって」
もってってちょセット“おばあちゃん”
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「おばあちゃんちのおかって」
もってってちょセット“お祝い”
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「おばあちゃんちのおかって」
もってってちょセット“漬け物”

「おばあちゃんちのおかって」とは、美濃加茂市に今でも残っている季節の郷土料理をまとめたレシピ本です。料理のレシピと合わせて、当時の思い出を懐かしそうに話すおばあちゃんが目に浮かぶような、あたたかいイラストも見どころのひとつ。イラストを使ったセットのバンダナは、本の内容に合わせた“おばあちゃん”“お祝い”“漬け物”の三種類。

●セブン工業株式会社（住宅建材メーカー）



- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード ハンドル（左図）
- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード スクエア
- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード ベーシック
- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード for バゲット
- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード for ピザ
- ・【BEAMS JAPAN 監修】ABEMAKI カuttingボード for カフェ

美濃加茂市で90年以上にわたって木材を扱ってきたセブン工業の高い加工技術によって生まれたカuttingボードなどを監修。木の温かみがありながらも、どこか力強さも感じる木目と、長く愛用いただける丈夫な素材はアベマキならではの。日常の中で使いやすいベーシックな形から、バゲットやピザにぴったりの特別なサイズまでバリエーション豊かな6種類をご用意しています。

●みのかも健康の森（可茂森林組合）



- ・【BEAMS JAPAN 監修】竹のコップ作り体験（2名様）+BBQ 利用券
- ・【BEAMS JAPAN 監修】竹のお箸づくり体験（2名様）+BBQ 利用券
- ・【BEAMS JAPAN 監修】アベマキ アウトドア ローテーブル（折りたたみ式）収納バッグ付
- ・【BEAMS JAPAN 監修】アベマキ アウトドア ローテーブル（組み立て式）収納バッグ付
- ・【BEAMS JAPAN 監修】アベマキ アウトドア ローチェア（組み立て式）収納バッグ付（左図）
- ・【BEAMS JAPAN 監修】アベマキ アウトドア ローテーブル（折りたたみ式） / ローチェア セット 収納バッグ付

美濃加茂市に多く自生するアベマキを使ったローテーブルとローチェアなどを監修。堅いアベマキだからこそその丈夫さで、自然の中でのアウトドアシーンでも気兼ねなく使えます。また美濃加茂市の里山再生事業で再利用が進められている竹を使ったオリジナルのコップ・お箸づくり体験と、緑豊かな森の中で楽しむBBQ 体験もお楽しみください。

●FM ラインウェーブ株式会社（岐阜県可児市、美濃加茂市、御嵩町を放送エリアとする FM 地方局）



- ・【BEAMS JAPAN 監修】「あっこねえと話そう in みのかも HOT スタジオ」
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「「どこでもメッセージ」30 秒」
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「FM らら パワープレイ」権（朝枠）
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「FM らら パワープレイ」権（昼枠）
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「FM らら パワープレイ」権（夕枠）
- ・【BEAMS JAPAN 監修】「オリジナル番組制作」

岐阜県可児市・美濃加茂市・御嵩町を中心としたコミュニティ放送局の FM ららから、他ではできないラジオ体験などを監修。看板パーソナリティの番組ゲストとして出演できるプランや、どこでも好きな日時に大切な人へのメッセージを届けられるプラン、渾身のオリジナル楽曲を放送できるプラン、そしてラジオ好きなら一度は夢見るオリジナル番組制作など、多種多様な楽しみ方をさせていただきます。

●Greens Farm ホタル



- ・【BEAMS JAPAN 監修】シャキッと野菜しゃぶしゃぶセット

「ホタルの名所」としても有名な三和町のきれいでミネラル豊富な地下水で、生き活きとおいしい葉に育った小松菜と水菜のセットを監修。水耕栽培は成長過程の中で野菜が受けるストレスが少ないため、えぐみが少ないやさしい味になります。農場のご主人一押しの食べ方である野菜しゃぶしゃぶは、3 秒ほど湯通しし、野菜のおいしさが驚くほど引き出された状態でお召し上がりください。

■BEAMS JAPAN 監修「岐阜県美濃加茂市」ふるさと納税返礼品取り扱いサイト

- ・ふるさとチョイス : <https://www.furusato-tax.jp/city/product/21211>
- ・ふるなび : <https://furunavi.jp/Municipal/Product/Search?municipalid=919>
- ・さとふる : <https://www.satofull.jp/city-minokamo-gifu/>
- ・楽天ふるさと納税 : <https://www.rakuten.co.jp/f212113-minokamo/>
- ・セゾンのふるさと納税 : <https://furusato.saisoncard.co.jp/city.php?n=212113>

■岐阜県美濃加茂市について

美濃加茂市は岐阜県の中南部に位置し、木曾川と飛騨川の合流点にあります。中山道「太田宿」として栄えたまちということもあり、近隣市町村の商業の中心地として栄えてきました。

現在は、大型商業施設や大手企業が工場を構える工業団地などがあるほか、本市の特産であり、約 1000 年の歴史がある「堂上蜂屋柿」の伝統と技術を受け継ぎ、今や全国でも有数の地域食品ブランドとして評価を得ています。

■BEAMS JAPAN について

BEAMS が日本の良さや面白さを世界へ発信するプロジェクトとして 2016 年にスタート。新宿、渋谷、京都の BEAMS JAPAN 3 店舗を拠点に、日本の技術が光るプロダクト、伝統に裏付けされた各地の名品、モダンカルチャーやアートに加え、こだわりの日本ブランドやオリジナルウェアなどファッションアイテムも集積し、日本のモノやコトの魅力を国内外に発信しています。これまでに兵庫県神戸市、大分県別府市、愛知県名古屋市、福島県などの地方自治体や、異業種との企業ともコラボレーションを行い、店舗イベントに加えて商品開発やガイドブックの発行など、数多くのプロジェクトに取り組んでいます。